

1682年に建てられたこの小さな下位の寺院は、もとは瑞巖寺への主な参道の入口の逆側に面していたが、18世紀になってその向きが変えられた。かつて仏教の習慣では、ある特定の日に寺院の敷地の一部に女性が立ち入るのを禁じていたが、三聖堂が同情と慈悲の菩薩である観音を参拝に来る女性参拝者に人気が得るようになった。瑞巖寺の住職は、女性が仏教の習慣に背くことなく別の道から参拝できるよう、その向きを変えるように命じた。

三聖堂には、5、6世紀に、インドから中国へ禅の教えをもたらした功績があると信じられている仏教僧の達磨と9世紀の日本の学者で詩人でもあった菅原道真（845-903）と観音様が祀られている。